

### 第3学年 総合的な学習の時間 学習指導案

日 時 令和3年 11月17日(水)

場 所 体育館

指導者 吉原 大貴 ・ 安部 慎一

三上 誠二 ・ 相本 祐樹

#### 1 単元名

ふるさとを考える「美郷町の地域課題の解決に向けて」  
～持続可能なふるさと美郷町のために、私たちに出来ることは何だろうか～

#### 2. 単元設定の理由

##### (1) 単元について

本校では、「ふるさとを愛し、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かなみさとの子の育成」を学校教育目標に掲げ、めざす生徒像を「自分で計画を立て、実行する生徒(自主)」、「自分の役割を自覚し、ひたむきにやりとげる生徒(責任)」、「よりよい考えを出し合い、力を合わせ高まる生徒(協同)」、「夢・目標に向かって根気強く努力する生徒(勤勉)」としている。

生徒の住む美郷町は、町の地域学校支援コーディネーターと連携するなど、学校と地域の人との関わりが深い。中国山地の山あいを流れる江の川が間近にあり自然環境にも恵まれている。また、町的美郷バレー構想のもと「山くじら(いのしし)」などの地域の特産品の開発や県外の大学との連携等、地域づくりも行われている。

本年度は、「①探究的な見方・考え方を働かせること ②目的や根拠を明らかにしながら課題を解決すること ③自己の生き方を考えることができること」という3つの力を伸ばすために、「総合的な学習の時間」の活動をさらに見直した。全学年とも豊かな地域の「ひと・もの・こと」を有効的に活用し、「生き方について考える学習」と「ふるさとについて考える学習(みさと学習)」の2つの探究課題を柱に学習を進めている。

本単元は、中学校の総合的な学習の時間のまとめとして、今までの学習も活かしながら、地域の公民館と連携し、地域アドバイザーや大学生アドバイザーとの『伝え合う活動』を通じて、地域の課題を明確にする。その上で中学生としてその解決策を考え、提案したり、自分たちにできることに取り組んだりする活動を行い、ふるさとのために行動・実践する力を育みたい。

##### (2) 生徒について

【個人情報保護のため省略】

##### (3) 指導について

本単元では、ふるさとがより魅力的な場所になるよう、美郷町の地域ごとの課題を実際に地域の方々から聴き、その課題を解決するために必要な情報を集め、整理し、まとめ、自分たちの考えた解決策のアイデアや、課題解決のために自分たちが取り組んだことを発信していくという学習に取り組む。

生徒は小学生のころから、現在までふるさとに関わる学習を経験しており、地域に対する課題にも自分なりに気づいている。課題解決学習の形態をとるが、より多様な他者と協働しながら学習を深めることができるよう、学級の仲間、地域の方に加え、大学生のアドバイザーに各グループの話し合いに関わっていただく形(各グループ1名・計6名)で学習を組み立てた。他の地域で暮らす人をアドバイザーとすることで、地域外の視点も加わり、より学習が生き生きと活発に進むと考えた。探究のサイクルのそれぞれの場面で、自分たちの考えを整理して伝えながら、大学生と協働する場面を設け、他者と協働して主体的に取り組む学習活動にしたい。

本時は、グループごとにプレゼンテーションを行う形で展開する。自他の思いを受け止めながら、他のグループの提案発表もより良いものになるよう互いにアドバイスや感想を送る場面も設定する。そして、それを受け、再び仲間とともに提案の仕方を練り直すことで、ふるさとを今まで以上に愛し、ふるさとの未来について真剣に考え、これからもよりよいふるさとづくりに貢献したいという心情とふるさとのために行動・実践する力を育てたい。

### 3. 単元目標

美郷の地域課題の解決にむけて、仲間、地域の人、大学生との協働することを通して、地域には多様な課題が存在し、地域の人々や地域の組織と目的を共有して解決していくことが必要であることを理解し、持続可能な視点から多面的にふるさとの課題の解決方法について考えるとともに、積極的に社会に参画しようとする態度を身につけ、自己の生き方を考えることができるようにする。

### 4. 単元の評価規準

単元名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ふるさとを考える 美郷町の地域課題解決にむけて	①【概念的な知識の獲得】	①【課題の設定】	①【主体性・協働性】
	持続可能なふるさと美郷町の実現のためには、地域の課題を、地域の人々や地域の組織と目的を共有して解決していくことが必要であることを理解している。	美郷の現状について地域の話聞き、仲間と意見を交流することを通して、美郷町の地域課題解決のための提案手順を計画している。	未来への町づくりについて、自他のよさを生かしながら協力して提言に向けて取り組もうとしている。
	②【自在に活用することが可能な技能の獲得】	②【情報の収集】	②【自己理解・他者理解】
	『伝え合う活動』において自分の考えをわかりやすく伝えるために、まとめ方や伝え方を工夫している。	持続可能なふるさと美郷町のために、必要な情報を、多様な方法で収集し、分類しながら蓄積している。	異なる意見や他者の考えを受け入れながら探究的な活動に取り組もうとしている。
	③【探究的な学習のよさの理解】	③【整理・分析】	③【将来展望・社会参画】
	ふるさとの明るい未来と自分のこれからの生き方との関わりについての理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	収集した情報を比較したり関連付けたりして、確かな理由や根拠を基に、持続可能なふるさと美郷町について考えている。	ふるさとの地域課題解決について考える活動を通し、自己の生き方を考え、夢や希望をもち、自分にできることに取り組もうとしている。
	④【まとめ・表現】		
	未来への地域づくりについて、考えたことや行動したことを効果的にまとめ、訴えている。		

5. 指導と評価の計画（全 30 時間）

探究過程	小単元名	学習活動（時数）	評価の観点			主な評価方法	
			知	思	態		
		・ 今後の学習への見通しをもつ（1）		①		行動観察	1
課題の設定	美郷町の地域課題の解決に	・ 美郷町の各地域の課題について知り、自分たちで解決にむけて追究する課題を設定する。（2）	①	①		行動観察	2 3
		・ 大学生アドバイザーと課題を共有する。（1）			①	行動観察	4
		・ 地域課題解決に向けて、必要な情報を集めるための計画を立て、計画書を作成する。（1）		①	②	行動観察 付箋アプリ（提案資料）	5
情報の収集	美郷町の地域課題の解決に向けて、自分たちが調査したこと、助言を受けたことを参考に、より良いアイデアを考えよう	・ 地域アドバイザーの方へのインタビューを通して、地域課題の現状や、解決のために必要な情報収集を行う。（1）		②	②	行動観察 クラウド型ビジネスチャットツール（情報収集のまとめ）	6
整理・分析		・ 大学生アドバイザーに向けての説明資料を作成する。（1）		③	②	行動観察 プレゼンテーションソフト（提案資料）	7
	・ 大学生アドバイザーに向けて、地域課題の現状や今後の計画について、自分たちの考えを伝え、助言を受ける。（1）	②		①	行動観察 ワークシート	8	
	・ 大学生アドバイザーから受けた助言をもとに、地域アドバイザーに向けての説明資料を作成する。（2）		③	②	行動観察 プレゼンテーションソフト（提案資料）	9 10	
	・ 地域アドバイザーへの説明のプレ発表を行い、助言し合う。（1）		③	②	行動観察 プレゼンテーションソフト（提案資料）	11	
	情報の収集	・ 地域アドバイザーの方へのインタビューを通して、地域課題解決のために自分たちで取り組める問題解決のプラン（以下、実践プラン）に必要な情報収集を行う。（1）	②	②	②	ワークシート（現地で調べた内容）	12

整理 ・ 分析	美郷町の地域 課題の解決に 向けて、自分 たちが調査し たこと、助言 を受けたこと を参考に、よ り良いアイデ アを考えよう	・ 収集した情報をもとに、 実践プランを考え、資料を 作成する。(2)	②	③	②	行動観察 プレゼンテーションソ フト(提案資料)	13 14
		・ 大学生アドバイザーに向 けて実践プランの提案を行 い、その後、助言を受け る。(1)	②		①	行動観察 ワークシート	15
		・ 大学生アドバイザーから 受けた助言と収集した情報 をもとに、実践プランを練 り直し、資料を作成する。 (2)		③	②	行動観察 プレゼンテーションソ フト(提案資料)	16 17
		・ 大学生アドバイザーに向 けて、再度実践プランを提 案する。その後、助言を受 け、修正する。(1)【本 時】	②		①	行動観察 ワークシート	18
まとめ ・ 表現		・ 地域アドバイザーに、実 践プランを提案し、助言を 受けながら、課題解決のた めの手段を改善し、自分た ちの考えた内容を全体に伝 える。(1)【本時】	②		①	行動観察 ワークシート	19
課題 の 設定							
情報 の 収集	美郷町の地域 課題の解決に 向けて、自分 たちが考えた	・ 各グループの課題解決に 向けて、地域の方々と一緒 に、貢献活動やさらなる現 地調査などに取り組む。 (4)	②	②	②	行動観察	20 21 22 23
整理 ・ 分析	ことや実践し たことを発表 しよう	・ 自分たちが取り組んだこ とを整理し、プレゼンテー ション資料を作成する。 (4)		③	②	行動観察 発表資料	24 25 26 27
まとめ ・ 表現		・ 発表会をする。(2)	②	④		行動観察 発表資料 ワークシート	28 29
		・ ふるさとの未来のために 必要なことを振り返る。 (1)	③		③	行動観察 ワークシート	30

## 6. 本時の学習

### (1) 本時のねらい

美郷町のよりよい未来のために、グループごとに考えた課題解決の手段を、大学生アドバイザーや他のグループ、地域の方に提案することを通して、提案の問題点を見つめたり、改善を図ったりすることができる。

### (2) 展開

	時間	学習活動	指導上の留意点（・）と評価（○）
導入	3分	1 本時のめあてと流れを確認する。	
展開	10分	2 事前に各グループ1分程度のスライドを作成し、地域課題の解決のためのプランを全体に発表する。 ・自分たちの課題 ・課題設定の理由 ・解決方法や困っていること	○伝える内容をスライドに要約し、わかりやすく伝えている。 (行動観察・提案資料)
	12分	3 各グループが事前に作成したスライド資料を用いて、テレビ会議システムで、大学生アドバイザーに、課題解決のためのプランを提案する。 ・今、考えている具体的な方策 ・それを行うために必要なこと ・困難を感じていること ・今まで話し合ったことの改善点 ・今まで調べてきたこと	・スライド資料は事前に大学生に配付しておく。 ・大学生からの質問は、随時受ける。 ・ICT支援員と連携し、テレビ会議システム接続やプレゼンテーションソフトの操作で困っている生徒の支援を行う。  ○自分たちの考えを、「考えるための技法」を活用して大学生アドバイザーにわかりやすく伝えている。 (行動観察・提案資料)
	15分	4 大学生アドバイザーから助言をもらい、改善していく。 ※アドバイザーも含めて各グループで、提言の改善点など話し合い、ワークシートに記入する。 ・わかりやすかったところ ・改善すればもっとよくなるどころ	・助言はメモを取りながら聞くことを確認する。 ・地域学校支援コーディネーター・社会教育主事と連携し、地域アドバイザーに本時の流れと授業のねらいを事前に伝え、共有する。 ・各グループに担当の教員・地域学校支援コーディネーター・社会教育主事をつけ、話し合いがスムーズに進むように配慮する。
	10分	5 地域アドバイザーの方に自分たちの考えと大学生から助言してもらったことをわかりやすく伝える資料を作成する。	
	8分	6 地域アドバイザーの方に自分たちの考えと大学生から助言してもらったことをわかりやすく伝える。	○大学生アドバイザーの意見を要約しながらワークシートに積極的に記入し、改善に向けて話し合いに積極的に参加している。 (ワークシート・行動観察)
	20分	7 地域アドバイザーから感想や意見をもらい改善していく。	
	まとめ	16分	8 自分たちのグループが行う貢献活動を全体にわかりやすく発表する。 ・最初の提案から修正したこと、課題としてでてきたこと (作成：8分 発表：8分)
6分		9 本時を振り返り、次にむけての見通しをもつ。(教師のまとめ・生徒の振り返り)	

### (3) 期待する生徒の姿

○自分のグループの考えをわかりやすく伝えるために、まとめ方を工夫している。…知②

○大学生アドバイザーや地域アドバイザーの意見を受け入れ、改善に向けてグループの話し合い活動に主体的に参加している。…態①